



豊能町長  
上浦 登

新年明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、令和6年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年3月に町長に就任させていただき、皆さまのご理解とご協力をいただきながら、町政運営の重責を担ってまいりましたが、新年を迎え、改めて町の発展のために邁進する気持ちを新たにしているところであります。

昨年を振り返りますと、5月に新型コロナウイルス感染症対策が2類相当から5類相当に移行されたことにより、行動制限が大幅に緩和され、完全とは言えないまでもこれまでどおりの日常生活や経済活動を取り戻すことができました。

町におきましても、昨年、国の臨時交付金を活用し、皆さまにお買い物クーポン券を配付するなど、物価高騰やエネルギー価格高騰の影響を受けた住民や事業所の皆さまに対する経済的支援に努めてきたところであります。

さらには、子育て世帯に対する支援として、中学校給食の無償化や保育所での使用済みおむつの回収などの施策や、住宅を建て替え、転入の促進を図るため、既存の空

家住宅の除却や家財道具などの処分に対する補助などの施策に取り組んでまいりました。

さて、本町では、人口の減少や高齢化により町税が減少するなど厳しい財政状況が続いており、老朽化している公共施設を今までどおり維持することは難しくなっております。

そのため、昨年、東・西それぞれの地区にある公共施設を地区ごとに集約し整備することを基本的な考え方として「豊能町公共施設再編に関する基本方針」を策定しました。

今後は、東・西それぞれの地区で公共施設再編整備に関する基本計画の策定に取り組んでまいりますが、基本計画につきましては、アンケートやワークショップなどを通して、住民の皆さまのご意見を踏まえながら策定してまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、長年の懸案事項であるダイオキシン問題につきましては、現在、廃棄物の最終処分につきまして、東地区の公共施設再編と一体的に進める方向で地元自治会の皆さまと協議、調整を行っているところであります。

今後とも、地元自治会の皆さまのご理解、ご協力をいただきながら、安心・安全に最終処分を行うよう全力で取り組んでまいります。

さらに、今後の人口減少や高齢化に備え、また、年々利用者が減少するなどの地域公共交通が抱える諸課題の解決に向けて、昨年10月から西地区におきまして、実証実験としてA-オンデマンド交通「ハニタス」を運行しています。多くの皆さまにご利用いただけますようお願いいたします。

また、東地区におきましては、新名神高速道路の開通などにより、国道423号沿いを中心に、賑わいが創出されているところですが、引き続き、地域の活性化を図るため、商業施設の誘致を進めますとともに、今後は、開発行為に係る緩和措置を拡充し、地域の賑わいづくりに努めてまいります。

私といたしましては、以上申し上げました取り組みをはじめ、転入の促進や子育て支援、高齢者対策、農業の活性化、東・西地区での小中一貫校の整備など町の重要課題につきまして、引き続き、住民の皆さま、議員の皆さまと丁寧な対話を重ねながら取り組んでいくことで、本年が町にとって飛躍となる1年にしたいと思っておりますので、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりましたが、新年が皆さまにとりまして明るく健やかで素晴らしい1年となりますよう、ご祈念申し上げます。新年のご挨拶とします。

令和6年1月1日



豊能町議会議長  
永並 啓

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は豊能町議会へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

世界では、ロシアによるウクライナ侵攻やイスラム組織ハマスによる奇襲攻撃、イスラエル軍によるガザ地区への空爆と地上侵攻などが起こっています。いまだに人間同士の争いがなくなることが残念で仕方ありません。同じ地球上に、今も安心して眠ることすらできない人たちがいると考えると胸が締め付けられる思いです。

さて、民主主義の基盤である地方自治を担っている地方公共団体の豊能町では、今、二元代表制である行政と議会の信頼関係が崩れています。塩川前町長時代に、議会の議決を反故にし、1億3500万円もの損失を出したことや議会が可決した付帯決議を全く無視したことが主な原因です。

スマートシティ事業は、豊能町の負担が全くないということが、議決の大きな要因になりました。しかし、その約束は守られなかったということです。法治国家の日本

においてとっても恥ずかしいことです。上浦町長と共に、崩れてしまった信頼関係を一つ一つ積み上げていく所存であります。

町を取り巻く交通環境は、働き方改革や少子高齢化の影響で、電車やバスの利用者が大幅に減少しています。利用者が増えなければ、いつの日か妙見ケーブルのように廃止されてしまいます。今まで当たり前のようにあったものがなくなってしまう、これほど寂しいことはありません。

現在、西地区では、AIオンデマンド交通の社会実験を実施していますが、今回は有償のため、利用者は大きく減少しています。これは、今ではなく、運転免許証返納後や5年後の将来を見据えた実験です。1回300円は、高いように感じるかもしれませんが、定期券だと月5000円です。僅か往復9回分です。住民の皆さまのライフスタイルの中に、オンデマンド交通での移動を取り入れてみてはどうでしょうか。

旧双葉保育所に保管しているダイオキシン類を含む廃棄物は、現在、地元自治会の皆さまと最終処分に向けた協議が進められています。この問題は、誤った情報に振り回されてきたという経緯があります。風評被害を防ぐためにも、住民の皆さまには、この廃棄物は高濃度ダイオキシン汚染物ではなく、そのまま埋め立てても法的に問題

がない物ということを知っておいてもらいたいと思います。情報を正しく理解し、冷静に行動することが重要な社会になっていくことを痛感します。

このことは教育においても重要です。今の子ども達は、学校の勉強だけでなく、ネット上に溢れかえっている情報を取捨選択し、正しく理解する力を身に付ける必要があります。また、ネットやSNSでの発言は、一瞬にして世界に拡散するだけでなく、発言を取り消したとしても、完全に無かったことにはなりません。そして、知らない間に加害者になっていることもありま

す。インターネットは、正しく使えばこれほど便利なものではありません。ネットを活用することで議会での議論の内容を住民の皆さまにリアルタイムに伝えることが可能になりました。現在は、本会議だけの放映ですが、各種委員会も放映するように取り組んでいます。そして、住民の皆さまからのご質問やご要望にも、議員全員で議論をし、お答えさせていただきますので、いつでも皆さまの声をお聞かせください。

結びに、本年が皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

令和6年1月1日